



「北九州市立大学」

街に飛び出す大学生が

底力を見せつけるこれだけの理由

学びの場の創設で地域貢献を果たす北九州市立大学。学生は街に飛び出し課題を解決するなかで大きく成長する。全学での※就職率99%、なかでも「地域創生学群」はなんと100%。ビジネススクール修了生の横の連携も強みだ。



17th Anniversary Logo

地域と学生をかけ合わせたらどんな化学反応が生まれるだろうか。2009年創設の「地域創生学群」の就職率100%という数字から、力のある学生が育っていることは明らかだ。

「大変高い評価をいただいています。キャンパスの外に出て実践的な地域活動を行うことで対人スキルを高め、様々な課題を自分の力で解決するなかで学生は大きく成長します」と松尾太加志学長。

全学の学生が登録すれば誰でも活動できる「地域共生教育センター(421Lab.)」でも、様々な地域貢献活動プロジェクトを展開している。また、独自の研究会活動もユニークだ。小倉北区の旦過市場内で運営する「大學生堂」では、市場でおかずを買ってこはんと一緒に食べられる大學生を提供しており、観光客に人気のスポットにもなっている。

「本学は30年後の未来に向けて、地域『環境』『世界(地球)』を三つのキーワードとして、知の創造を目指しています」

環境首都・北九州市の一員として、「持続可能な社会に貢献できる人材」を養成する「環境ESDプログラム」を副専攻で設けている。そして、19年度からは、外国語学部・経済学部・文学部・法学部・国際環境工学部・地域創生学群のすべての学部・学群で新カリキュラムがスタートする。特に「外国語学部英米学科は、来年度から海外体験を、必ず行い、専門を英語で学ぶカリキュラムに変え、グローバルな人材の育成に取り組みます」。

### 社会人の連携を後押し

社会人向けの教育プログラムも充実している。新たに来年度から創設される「Design Communityカレッジ」(自分をデザインする。大人のための大学)では、昼間に「学問と人生」「地域創生」を夜間に心理学が中心の「こころの科学」を学ぶことができる。

社会人をターゲットにした、経営を学べるビジネススクール「マネジメント研究科」への評価も高い。ここではマネジメント能力を身につけたリーダーの育成だけでなく、学んだ修了生たちのネットワークが組織化され、年次にかかわらず、頼れる仲間を得ることができると有意義な機会となっている。「様々な業種の方との交流が、仕事の現場でも大きな役割を果たしています。こうした人とのつながり、地域に飛び出した学生の成長が、地域に根差した公立大学の発展の強みなのです」